

平成21年度「市政懇話会」第1回「環境先進都市」部会議事概要

日 時：平成21年8月28日（金）15：10～16：10

場 所：鳥取市役所本庁舎4階第3会議室

出席者：【委員】宇津原エミ委員、池長綾子委員、池原良行委員、下石義忠委員、谷尾洋介委員、手島秀光委員、八村輝夫委員、三谷信子委員、矢追浩太委員、吉村あけみ委員

【鳥取市】深澤副市長、坂本環境下水道部長、岸本環境下水道部次長、牧環境政策課長

【事務局】枅谷

1 事務連絡《事務局より説明》

- ・部会の運営方法等について
- ・本日の決定事項について

2 自己紹介

3 鳥取市の環境に対する取組について《環境下水道部長より説明》

委員)

- ・資料は事前に配布いただきたい。時間も限られているので、資料は事前に読み、当日はテーマに沿って意見を出し合った方がよい。民間だったらこんなことはありえない。
- ・小中学校の学校給食の残菜の過去5年間の推移と、その処理に係る経費について教えて欲しい。

4 部会長・副部会長の選出

- ・部会長：下石委員に決定
- ・副部会長：谷尾委員に決定

5 意見交換

委員)

- ・佐治地域に犬を大量に飼っている方がいらっしゃる。飼育環境もそんなに良くなく、匂いや吠える声などで、周囲の方に迷惑がかかっている。古い自動車も放置され、困っている。資料といっても無いかもしれないが、何か対策があれば教えて欲しい。

委員)

- ・会合で2～3日前に入ったが、岐阜県高山市では、昼にも、道路、商店街、たばこの吸殻一つ落ちていない。朝、有名な市があり、ポイ捨ての状況を見に行ったが、たばこの吸殻がまったく落ちていなかった。市民も一体になって取り組んでいるようだ。ポイ捨ての罰金は1,000円。遠慮なくいただくと。市の方で、現在の形ができた状況を高山市に聞いていただいて、資料をいただくとありがたい。本当にごみが落

ちていない。見事にきれいな街である。そのような実績のあるところを調査していただきたい。合掌造りの世界遺産もあり、観光にも高山市は重点を置いているが、県外者がまったくたばこを吸う気にならない。市民もくわえたばこを見ると注意している。

環境下水道部長)

- ・佐治の犬の件については、従来から地区の方から要望を受けている。その後の取組状況等について取りまとめたい。
- ・高山市についても条例はもちろんだが、状況を調べてみたい。

委員)

- ・よく道路にスーパーの袋に入ったまま、ごみをポイ捨てされているのを見かけるが、これは誰かがきれいにしているのか。

環境下水道部長)

- ・それぞれの道路管理者が対応していると思う。地域の方も拾われたりして様々な対応がなされているが、行き届いていないこともあるのではと思っている。
- ・ごみのポイ捨て禁止条例の一層のPRをしていく必要を感じている。

委員)

- ・湖山川でも土手に不法投棄があり、ごみを拾い続けている。東京のNPOでゴミ拾いをしている友人に聞くと、ごみを拾いつづけることが重要だとのことだった。
- ・ボランティアという言葉はたくさんあるが、将来を見通して「脱ボランティア」が必要と感じる。ボランティアという言葉は、これからはふさわしくないと思う。みんなが働いて、そこに行政がお金を落として、経済をまわして欲しい。地区でもごみをきれいにするためには経費が必要である。次回のテーマは「脱ボランティア」で行って欲しい。

委員)

- ・子どもエコクラブの活動状況を教えて欲しい。これからの時代を担う子供たちのそのような活動が重要だと思う。

委員)

- ・学校教育における環境教育、学習の充実について、どういう事例があるか、鳥取市の事例を教えて欲しい。

委員)

- ・ISO14001 とか TEAS に関する鳥取市の取組、推進状況を具体的に教えて欲しい。

以 上